

有機物施用と耕種的防除を組み合わせた 露地野菜の有機栽培技術

有機物施用技術や耕種的防除技術を組み合わせた露地野菜の有機栽培技術を明らかにしました。

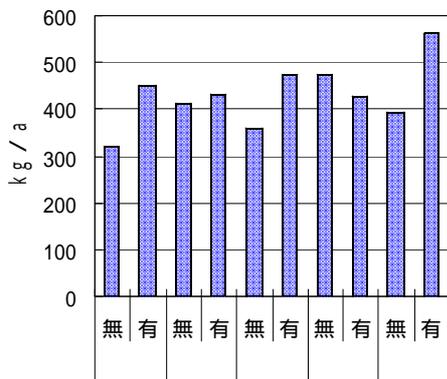
学校給食残さ、籾がら、牛糞堆肥等の地域有機質資源を利用した栽培では、慣行栽培とほぼ同等の収量を得ることができました。また、化学合成農薬の代替として、作付前には太陽熱土壌消毒を行うことで雑草抑制効果が得られ、除草剤の使用を省くことができ、目合いの細かい防虫ネットを利用することにより害虫の加害防止が容易となり、化学合成農薬の使用を回避することができました。



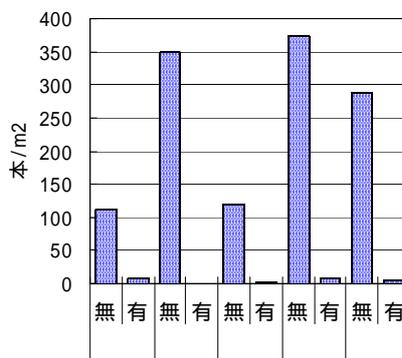
有機物（給食残さ等）の利用



緑肥作物の栽培と太陽熱消毒



有機物施用・太陽熱消毒の有無とニンジンの収量



太陽熱土壌消毒の有無と雑草発生数

有機物施用処理区
 慣行(化学肥料)
 慣行+堆肥
 特別栽培(化学肥料
 半量+堆肥)
 有機栽培(学校給食
 +焼成鶏糞+堆肥)
 有機栽培(市販有機
 +堆肥)



防虫ネット目合い1mm使用



目合い0.8mm使用

葉根菜栽培では、有機物施用により慣行栽培と同等の収量が得られました。作付前にポリフィルムで被覆して太陽熱消毒を行うと、雑草を抑え、増収しました。目合いの細かい防虫ネットで被覆栽培すると、害虫による被害を少なくすることができました。